



永平寺町

議会だより

第36号

平成26年10月17日発行

がんばる団体

松岡少年野球クラブ

(※ 最終ページに紹介記事)



地域の防災強化を考えよう ②ページ

人口減少の克服をめざして ③ページ

そこが聞きたい! (議員17人が一般質問) ⑦ページ

永平寺町議会
facebook

永平寺町議会

検索

<http://www.eiheiji-gikai.jp>



人口減少の克服をめざして

「急激な人口減少で全国の自治体のほぼ半数は2040年までに消滅する可能性がある。」民間研究機関が描き出したこの報告は、日本の将来像に波紋を広げています。国は人口減少に歯止めをかけ、活力ある社会を維持するための「まち・人・しごと創生法案」を作り地方創生に動き、県および市町では「人口減少対策推進本部」を立ち上げています。

本町は、以前より子育て支援や若者定住支援を行い、人口減少を最小限に食い止めてはいるものの、人口減少は確実に進んでいます。表1は「地区別人口の推移」を合併の年から出したものです。どこの地区も減少しています。また図1は「人口移動の状況（平成18年度～25年度）」を表しています。

人口減少は様々な問題を引き起こします。学校の児童数の減少、空き家の増加、高齢者の介護問題、災害や犯罪への防衛等々。住民が自らの問題として受け止め、住民の知恵と行動で克服しなければなりません。
(滝波 記)

表1 地区別人口（4月1日現在）の推移

地区別	年度										比較(H18対H26)	
	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	人口	率	
松岡中地区	6,471	6,494	6,422	6,387	6,372	6,351	6,352	6,330	6,347	-124	-1.92%	
御陵地区	2,321	2,309	2,337	2,251	2,248	2,249	2,220	2,194	2,182	-139	-5.99%	
吉野地区	1,704	1,708	1,679	1,710	1,700	1,720	1,703	1,704	1,688	-16	-0.94%	
永平寺北地区	998	984	970	965	949	927	908	901	877	-121	-12.12%	
永平寺中地区	3,574	3,536	3,541	3,517	3,469	3,459	3,429	3,386	3,344	-230	-6.44%	
永平寺南地区	1,771	1,772	1,793	1,795	1,799	1,803	1,803	1,786	1,790	19	1.07%	
上志比地区	3,538	3,512	3,486	3,466	3,423	3,375	3,338	3,262	3,211	-327	-9.24%	
松岡地区	10,496	10,511	10,438	10,348	10,320	10,320	10,275	10,228	10,217	-279	-2.66%	
永平寺地区	6,343	6,292	6,304	6,277	6,217	6,189	6,140	6,073	6,011	-332	-5.23%	
上志比地区	3,538	3,512	3,486	3,466	3,423	3,375	3,338	3,262	3,211	-327	-9.24%	
計	20,377	20,315	20,228	20,091	19,960	19,884	19,753	19,563	19,439	-938	-4.60%	

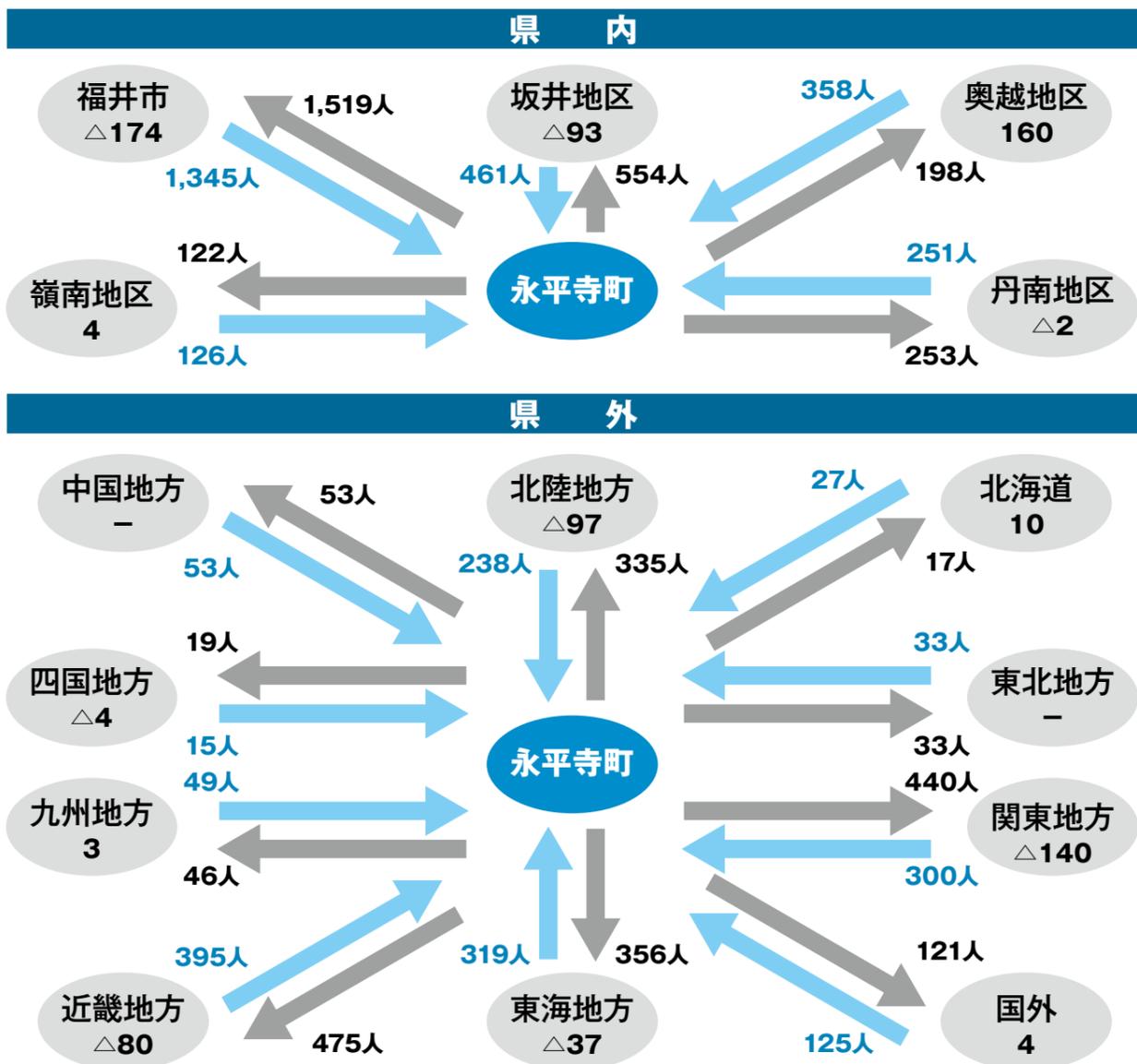


図1 人口移動の状況（平成18年度～平成25年度）



小型ポンプの操作指導

去る、8月20日に甚大な被害をもたらした広島市の同時多発土砂災害は、近年多発する異常気象が原因となる典型的な災害でした。今回の災害はもはや「対岸の火事」ではなく、当永平寺町においても、いつ発生してもおかしくない状況となっています。

そこで、住民の皆さんが今思っていること・不安なことについて一緒に考えましょう。

1. 皆さんの地域で危険箇所（土砂災害、浸水等）はありませんか。
 2. 避難場所は、分かっていますか。
 3. 行政へ聞きたいこと、お願いしたい事はありませんか。
 4. 自主防災組織、自主防災連絡協議会をご存知ですか。また、機能していますか。
 5. 自分の備えは万全ですか。
- 皆さんのご意見をお聞かせください。
(中村 記)



災害時テント設営訓練

地域の防災強化を
考えよう！

今年の「除雪対策」やマイナンバー制度、広域交付システムなど

平成26年度9月補正予算

総額 9,137万円

当委員会に付託された平成26年度一般会計及び国民健康保険、農業集落排水事業特別会計の補正予算探検について9月11日に慎重に審議し、一般会計は賛成多数、他は全員にて原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算の主なものは除雪対策費4,312万9千円、マイナンバー制度支援委託料350万円、広域交

付（ICカード）システムデータの暗号化委託料529万2千円他、臨時福祉給付金、定住促進、有害鳥獣対策、松岡公園詳細設計、農集特別会計操出金などです。特別会計は国民健康保険1,113万円、農業集落排水2,200万円です。

主な審議の一部は以下のとおりです。

他意見として
消費税に伴う臨時福祉給付金支給は申請者のみの支給ではなく全員に、安易な補助金支出なく、透明、公平、納得性も考え補助要項の見直しも必要。

松岡公園第2期整備計画は費用対効果も考えて方向性や見直しも必要。
答 当初計画の検証を行い第2期工事を含めた全体事業計画の見直しをする。

現行の自動交付システムはどうなる
現在役場等に設置してある自動交付システムは（福井、小浜、勝山などでは採用していない）はコンビニ交付システムになるというのか。

マイナンバー制度支援とは
マイナンバー制度は行政事務合理化効率化のためには必要かもしれないが、個人情報流出や取扱者を含めたセキュリティには不安がある。十分留意した管理体制や現行の住基カードとの関わりは。

社会保険、税番号（マイナンバー）制度は効率性、透明性を高め、国民にとって利便性を高める社会基盤。住基カードも統合し、個人番号に移行する。

反対討論
上田 誠
本条例案は現在大都市で課題と

賛成討論
小畑 傅
この事業は本来、都市部における待機児童の解消を主な目的としており、県の許可事業の保育事業を市・町の許可に下ろしてきた条例である。

反対討論
金元 直栄
これは、地方自治体自ら条例を創るといふ絶好の機会を投げ捨ててしまうものもある。

賛成討論
小畑 傅
本町のようない育で支援の行き届いた行政ではなさない。しかし、多様な職場環境等に対応すべく今後の保育事業（子育て支援）を考えると、この条例によって国からの支援を受けられることから賛成する。

反対討論
金元 直栄
本町が、子育ての町として築き上げてきた水準を国の指針とはいえず、国も設ける条例は「地域の実情に応じた内容を定めることは認める」としているのに、保育士でなくとも保育ができる等、低い基準に合わせる等は認められない。

賛成討論
小畑 傅
この事業は本来、都市部における待機児童の解消を主な目的としており、県の許可事業の保育事業を市・町の許可に下ろしてきた条例である。

反対討論
金元 直栄
これは、地方自治体自ら条例を創るといふ絶好の機会を投げ捨ててしまうものもある。

賛成討論
小畑 傅
議案第41号と同様に考え、これに賛成する。

反対討論
金元 直栄
保育料について、実質分や追加徴収ができる内容となっており、上乗せ徴収が可能となっていること。

特定教育保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定
さらに、ことさら幼児教育を強調するが、本町では保育所でも現在5歳児まで見ており、学校との連携もすでに行われている。幼保一元化を民間も含めて行うことは、本町では混乱を生むことにもつながるため反対。

議案第42号
特定教育保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

平成26年 第5回 定例議会報告

平成26年第5回永平寺町議会定例会が、9月3日（水）～17日（水）まで15日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。
なお、人権擁護委員候補者として、永平寺町松岡樋爪 田中眞佐子氏、永平寺町光明寺 齋川静子氏、永平寺町松岡薬師 比島直美氏の3名の推薦に同意しました。 議長 川崎 直文

Table with 3 columns: 議案番号, 内容, 結果. Includes items like 報告第3号, 議案第34号, 議案第35号, etc.

議案への賛否一覧

Table with 17 columns (議員名) and 3 rows (議案第36号, 議案第41号, 議案第42号) showing approval status.

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等12件については全員賛成です。

議案への賛否討論
議案第36号 平成26年度一般会計補正予算について
反対討論 金元 直栄
賛成討論 滝波登喜男
議案第41号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
反対討論 多田 憲治
賛成討論 上田 誠

企業立地促進 条例の一部改正

総務常任委員会
委員長 中村勘太郎

議案第39号
永平寺町企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定
：採決の結果、委員会全員賛成により可決

本案は、永平寺町企業立地促進条例の一部改正においては、総務省告示による分類表示の変更であり、永平寺町企業立地促進条例について所要の改正を行うもの。

陳情第4号
地方財政の充実、強化を求める意見書提出に関する陳情について

：採決の結果、委員会全員賛成により採決
地方財政の安定的な行政運営を実現するため、地方交付税総額の拡大等に向けての陳情となっている。

子ども・子育て 関連条例の制定へ

教育民生常任委員会
副委員長 金元 直栄

当常任委員会への付託案件は5件。9月12日と16日の2日間において議論された。

付託案件
議案第40号 「町社会福祉法人の助成に関する条例の制定」は、補助の根拠条例として全員一致で認めた。
議案第41号 「町家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例」については、待機児童対策で保育所の数の確保のため設けられる条例。

委員からは、小規模保育では、保育士の資格がなくても保育できること。20人以下の保育所は、A・B・Cと3種に分け、保育士が必ずしも保育の条件にならないなど、本町の築き上げてきた保育水準を引き下げるもの。どうして町の保育水準を求めないの等の意見が出され、2日間にわたる議論の中、採決の結果、賛成多数で採決された。

議案第42号 「町特定教育、保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」は、幼保三元化に基づくもの。委員からは、運営につき保育料の追加徴収ができることになっっているが、保育料がどんどん高くなるとの意見が出された。採決の結果、賛成多数で可決。

議案第43号 いわゆる放課後児童クラブ、学童保育の基準を定めるもので、この基準を町も守るべきとの意見が出たが、全員一致で可決。
陳情第5号 手話言語法制定に関する陳情は、全員一致で採択し、本会議に「手話言語法制定を求める意見書」の採択を求めることとした。

永平寺参ろーどを 町道認定へ

産業建設常任委員会
委員長 朝井征一郎

1 付託議案
議案第44号「町道の認定について」
町道永平寺参ろーど（永平寺高橋7字32番1〜永平寺志比54字53番3）の完成にともない、今後の適正な管理等を図る。

道路法：第8条第2項の規定により、町道の路線を認定する。



線路復元部ウォーキング

：議案第44号については、挙手全員で可決
2 永平寺町のブランド戦略推進委員会について
永平寺町食の恵みフェアを開催する。「食」グルメ、特産品などを町の食の販路拡張を図る。

3 農業委員会の農業委員について
委員の定数、任期については、定数26名、任期は3ヶ年で平成27年8月31日までとなる。

問&答 そこが聞きたい!

9月
定例会
一般質問

17名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

問 広島同時多発土砂災害の 教訓を生かせ

答 ハード・ソフト面の両方で 対処していく



中村勘太郎 議員

問 8月20日、広島で起きた同時多発土砂災害は、甚大な被害をもたらしたが、近年、異常気象が多発する中、危機管理体制の迅速な判断が危惧される。本町において、このような災害に、どう判断、手段をもって対処するのか。
町長 迅速な対応が不可欠で、町民の皆さんに災害種別によって何処へ避難したらいいかを、より身近に説明していく必要がある。また、空振り覚悟で行政が避難勧告・指示・準備を発令する旨を平時から皆さんに理解していただく必要がある。さらに、災害発生時に職員の見守り、情報伝達の取り組みが必要であり、住民の皆さんへ防災無線、広報車での広報、ホーム

ページ、ソーシャルネットワークワーク、ケーブルテレビ等も考えながら、今後訓練等を通じて行い、防災の運営に努めていきたい。
建設課長 基礎調査後に352ヶ所の土砂災害警戒区域内、山際で新たに住宅開発した箇所はないが、山際の住宅団地等を対象に9月中旬に独自の点検を行う。また、県による砂防事業として、2基の砂防堰堤を計画、河川事業についても、県事



広島市の豪雨災害

問 適正な職員採用を行う

答 平成27年度から県消防学校教官として3年間派遣され、また、6ヶ月の救急救命士の養成で職員が不足する状況となるが、確実に稼働できる適正な職員配置、採用をお願いしたい。
総務課長 消防職員の採用については、今年度3名採用し、来年度も3名を予定している。平成28年度新庁舎の移転を控え、適正な職員採用を行っていききたい。
町長 現在、消防長と総務課でいろいろ分析し、適正な人数を検討している。今年4月には、正式な定数計画をお示しいたしたいと思っております。



齋藤 則男 議員

問 授産施設等整備の取り組みは

答 調査研究し、検討していきたい

問 心身に障害をもつ人のたちの働く場所、授産施設等の取り組みは町としては考えられないのか。

答 人口の減少が著しいが、対策は

問 町の人口を増やしていくための施策をするのか、それともこれ以上減らさない、減少をとめるための施策を展開していくのか、町として基本的な方針は何か見えてこないか。

答 町長 皆さんの就労支援、本当に大切だと思っ
ていて。調査研究、または国のほうに働きかける、そういったこともあわせて検討していきたい。

問 保健・医療・福祉の連携の考えは

答 多職種連携がますます必要になる

問 健康づくりと医療と福祉の垣根を越えた連携したサービスの提供は、特に高齢者や障害者にとって必要性が高い。地域での共助も含め効果的に支えていく連携の仕組みづくりを推進するために、必要だと思いませんか。

福祉保健課長 全国的に少子・高齢化が進み、福祉に対する需要は高まるばかりである。健康づくりと医療、そして介護の連携、いわゆる多職種連携ですが、こういったものがますます必要になってくるので、保健師をはじめ福祉や専門的知識を有する人材が大変重要化されてくる。こうした連携を高めるためにも、保健



師を採用して、福祉分野の強化を図りたいと考えている。見極めながら検討する。

問 中学校の部活動の現状は

答 重要な教育活動の一つと認識



小畑 傅 議員

問 部活動で共通の目標を持った良き友人や熱心な先生に出会え、体力や技術、技能、表現力などを錬磨研鑽し、向上を図ることが大切である。その成果を対外試合や演技、演奏会で実感することは、青春の汗や涙や共感の記憶とともに、人生の貴重な1ページとなり、将来の夢を育み自己表現への出発点になると思う。部活動の位置づけはどのような位置づけなのか。

教育長 重要な教育と常々考えている。平成24年の指導要領の改定で総則の中に、部活動は教育活動の一つと認識

問 松中第二体育館は財政が将来活用か

答 議会の意見を聞き方向性を決める



松岡中学校部活動

問 平成30年の福井国体、残すところわずかになってきた。バスケットボール会場の松岡中学校体育館国体誘致の条件のサブ体育館建設は、バスケットコート一面確保のサブ体育館か、武道教育の武道館かで揺れている。議会でも議論がなされていない中、行政ではどのような考えか。

町長 今いろいろ考えている。そんな中、議会としての意見をお願いしているところである。

問 50年に一度の国体開催、それに合わせた施設は必要と思う。何のための国体か、財政だけで押しはかれば開催しない方がいい。オリンピックだ

問 「参ろーど」の維持管理は誰が行うのか。

企画財政課長 基本的に

問 遊歩道「参ろーど」は歩行者専用か、又は自転車や歩行者が通れる自歩道か。

企画財政課長 歩行者優先で低速の自転車に限り走行を許可する。

問 「参ろーど」は朝に夕に散歩や、ジョギングを楽しむ人々が多いが、行き交うには1.5mが必要。荒谷、永平寺区間の、舗装幅員1.0m 砂利道2mの理由は。 企画財政課長 跡地利用



永平寺参ろーど

問 維持管理を沿線地域活動として農地・水の多面的機能の活動

問 維持管理を沿線地域活動として農地・水の多面的機能の活動

問 維持管理を沿線地域活動として農地・水の多面的機能の活動

問 維持管理を沿線地域活動として農地・水の多面的機能の活動

問 維持管理を沿線地域活動として農地・水の多面的機能の活動

問 「参ろーど」参られようか

答 「参ろーど」のブランド化を進める



川治 孝行 議員

問 永平寺町の新名所として、永平寺ブランドとしての現在の取り組み状況は。

企画財政課長 私らの道「参ろーど」として色々

問 参ろーどの意味やストーリー、の構想があるのか。

問 参ろーどの意味やストーリー、の構想があるのか。

情報発信と行政チャンネルの活用は

環境を整備し、様々な事業に役立てたい



江守 勲 議員

町長 人や企業を呼び込むには、情報伝達のスピード化も大切。ただ、インフラ整備には投資が必要になる。投資額をしつかり精査し検討していきたい。

企画財政課長 選挙開票の中継は初めての試みで、町民の方からも良い意見を頂き、中継して良かったと判断している。

町長 観光の町・学生の町・交通要衝の町として人と企業を呼び込むには、WiFi環境の整備が必要と思うがどうか。



選挙開票風景

町長 保護者や生徒にどのように周知したのか。

教育長 文章での通知とPTA総会で校長先生から、経緯と目的を話すようお願いした。

町長 他自治体では、2学期制度を取り入れる所もあるのに、なぜ永平寺町では夏休みを短縮したか。

教育長 平成24年度より完全実施された新学習指導要領で教育内容が大きく改善され、授業数が大幅に増え、授業数を確保する必要があった。

町長 午後から授業がない日に給食を食べて帰った日があると聞くが、いくら給食費無償化しているとはいえ町民の皆様から負担していただいているので、来年度に向けてしっかりと課題を精査して取り組むべき。

建設課長 ①現在、町内では吉野塚地区の荒川や山王地区の南河内川の改修事業が優先的に進められている状況。永平寺川については、県へ要望しているが今後、引き続き必要な事前の測量調査費等予算の確保も含めて県へ早期に事業が着手できるように要望する。

町長 現状視察し、しっかりと県に要望を伝える。注※1【浚渫】川底の土砂などの堆積物をさらい取ること。

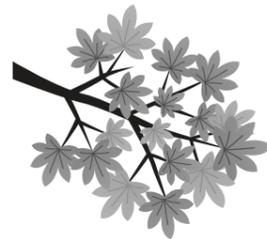
町長 現状視察し、しっかりと県に要望を伝える。



消火栓ホースのノズル

町長 区では従来の連絡を受け倍以上の時間がかかる。町内集落でも8分以上かかる地域には初期消火対策として消火栓に高齢者でも対応出来る50ミリホースを設置できないか。

町長 地域に合った資材を、消防補助金を活用して対応していきたいと考えている。



永平寺川改修を当面浚渫対応策で

県へ早期着手強く要望する

町長 過去には、永平寺川においても幾たび甚大な被害が発生しており、そんな中、南小学校(京善区)近くまでは河川整備がされている。そこで質問：①上流側は未だ改修部分である。早期に改修工事が必要であり、ぜひ検討を要すが。②当面は少しでも被害が起かないよう2年毎に一度は浚渫をすべきだ(現状写真を提出)。



振興会を通じ人口増対策が急務では

定住促進拡充を来年度予算で

町長 合併時より上志比は9.2%、永平寺地区は5.2%、松岡地区は2.7%の人口減で松岡地区が町全体をフォローしているから県下2番目の減少率。何より14歳までの子どもの減が13.6%と将来不安。若い親子4人家族で住民税、固定資産税、地方交付税で一戸当たり年約76万円町の収入になる。機能補償道路が開通し市内への通勤便利、保育料が県下一安いで、医療費・給食費が中3まで無料、学

町長 若者定住促進制度による、両親と同じ敷地内に家を建てる場合の補助また、空き家・廃屋解体も含め助成できないか検討する。



長谷川治人 議員



多田 憲治 議員

問 本町の人口減少の現状と対策は

答 本町の特性に合った施策を進める



奥野正司 議員

問 合併後の人口推移、自然増減数、社会増減数は、人口増加の鍵は子育て若者人口の増加にある。「住むなら永平寺町」と言われる施策の実施と結果は。晩婚化対策、妊娠・出産支援施策は。

企画財政課長 合併後毎年人口減少、本年4月1日現在1万9439人と予想より早い減少。平成18年よりの累計は自然増

子育て支援課長 子育て支援の各種施策の利用者・対象者数はいずれも



永平寺口駅周辺

ン方館前に踏切を移設し、東インターや遊歩道へ繋ぐ案を地区内で話し合っているが。

建設課長 永平寺線跡地遊歩道整備・永平寺口駅周辺整備や消防本部再編整備計画等による永平寺東インターから永平寺

口駅周辺のアクセスを強化し、地域の活性化を図るための道路整備で、えち鉄の踏切横断等の難しい問題については地元との協力とご理解をお願いしたい。

前年比増加。

福祉保健課長 毎年出会い事業実施。健診・検査無料化、出産一時金支給、新生児訪問、1歳・1歳半・3歳児検診、育児・乳幼児相談、中学校3年生まで医療費無料化実施。

問 本町に定住する子育て世代の正規雇用の場の育成・誘致の取組は。

企画財政課長 合併後4件の実績、誘致条列で8名の町内在住者を雇用。今年度も1件建設中で3名以上の雇用期待。

問 町内外への職場への通勤アクセスの改善は。

建設課長 機能補償道路の供用、中部縦貫道、永平寺大野道路の2車線無



【その他の質問】
「空き家の現状と対策について」「御陵小児童の通学危険箇所の改善について」

問 包括支援センターは行政で管理を

答 見直しの必要性和、スペースの問題



伊藤 博夫 議員

問 他県においては地域包括支援センターが介護保険者の抱え込みや有力法人が幅をきかすということが新聞報道されたが本町にはこのようなことはないのか。またチェック体制はどのようにされているのか。

福祉保健課長 平成24年度より町福祉協議会へ委託しており、ケアプランの作成が主な仕事である。委託に当たりセンターの運営方針を定め中立性の確保を求めており、利用者の誘導等をしていない。

問 国道364号バイパスは地元と協議を

答 永平寺口駅周辺へ

問 新設される町道950mは道路網としてはありがたいが、駅周辺を絡

結節機能の町道 めた場合、全く変なルートではないのか。国道364号バイパスとしてレ

よう関係者に申し上げている。

またチェック体制は地域包括支援センターの運営協議会へケアプランの作成件数、委託先等資料の提出をさせており、今後更に各関係機関と協議し公正で中立性の高い事業運営を行うよう指導していく。

問 6月議会において町長は庁舎内に地域包括支援センターを設置したいとのことであったが。

町長 庁舎内が工事の為、設置するスペースがなく、現在模索している状況である。包括支援センターと福祉保健課とは事業運営や連携について見直しの必要性を感じており、早急に方向性を示したい。

問 えち鉄山王駅のトイレの改修を

答 えち鉄と十分協議する



酒井 要 議員

問 山王駅のトイレが和式なので利用できないと障がい者、また、高齢者の間で話が出ている。病院に行くのにえち鉄の利用をしている人が多く、早急な改善が必要と思うが。

総務課長 町内の10駅中9駅がトイレの設置がされているが、洋式のトイレ

問 人口減少を止めなければいけないと思うが

答 公共施設の再編調査検討したい

問 上志比地区の地権者から栗住波地区にある「除雪機械格納庫」があるが、その後ろにある2200平米の土地が放置されているとのこと。また、その前のプールも使

人口増になると思うが。

学校教育課長 プールについては、現在使用していない。多額の経費などがかかるので見合わせたとの学校の答えである。

町長 格納庫、プールについては、公共施設の再編を行っている。提案された件も織り交ぜて検討したいと思う。現に栗住波住宅が建っているすぐ隣であり、場所もいいのではないかと思っているが、もう一度公共施設の再編をして調査、検討してみたいと思っている。

問 山王駅のトイレが和式なので利用できないと障がい者、また、高齢者の間で話が出ている。病院に行くのにえち鉄の利用をしている人が多く、早急な改善が必要と思うが。

総務課長 町内の10駅中9駅がトイレの設置がされているが、洋式のト

伊レの設置があるのは松岡駅、永平寺口駅、下志比駅の3駅である。トイレを含め駅的环境整備については、駅の利便性を図り、電車を利用する観点から重要なことだと認識している。えち鉄と十分協議をしながら環境整備に努めていきたい。



えちぜん鉄道山王駅のトイレ



議員 間 薫

問 合併特例期限後の財政計画は進んでいるか

答 行革推進室で取り組んでいる

問 合併特例の期限は。また、その後見込まれる交付金は。

企画財政課長 合併後10年間は合算額が補償されており、11年目（平成28年）から5年間、毎年1億3千万の減額となり、平成33年では今年度と比べて6億5千万程度の減額を推測。

問 大変厳しいが、それを踏まえ「つよい永平寺町」づくりのための町長の展望は。

企画財政課長 永平寺町行財政改革大綱や中期財政改革に基づき、職員定数削減等を進めている。

問 ハープを町おこしに生かせないか

答 ふれあい体験のほかにも考慮中

問 我が町には日本唯一のハープ専門メーカーがある。優雅な音色を奏でたい。

生かせないか。旧松岡町が購入したハープの現在は。学校教育課長 購入したハープは10台。ハープは管理が難しく、青山ハープで保管をお願いしている。平成26年3月には放課後子ども教室でふれあい体験を実施している。

問 各小学校や公民館に置き、町民がふれられるようにできないか。町長 各小学校の音楽室に置く提案をしたが、管理の面で難しい。ハープを何か町づくりに生かせないか考えている。



ペダルハープ

ヤイム、えち鉄の電車到着メロディ等をハープの音に変え、もっと親しんでもらう。総務課長 技術的には可能。今後検討したい。

問 松中第2体育館、本当に必要?!

答 バスケット誘致に必要だった



議員 上田 誠

問 福井国体で3種目の経費は4億2千万円、第2体育館建設に3億5千万円、合計7億7千万円必要になるが、運営費は2億円でなかったのか。

バスケット会場には第2体育館が必要とは決定前に議会に示していない。そこまですべて3種目必要なのか。補助は。

生涯学習課長 松中でのバスケット開催には、アップ設備（第2体育館）

問 緊急放送を12ch(テレビ)で

答 12chでも見られるシステムにする

問 現在、緊急時の伝達周知は防災行政無線の放送で行っている。この放送は場所や屋内では聞きづらい点が指摘されている。これからは、こしの国TVの12ch(行政ch)を押せば(選択)緊急放送の内容

が目と耳で確認できる運動システムが必要。企画財政課長 現在は12chで文字放送、議会中継、健康体操などを放映している。

町長 緊急時の住民への情報伝達、周知は非常に

が必須条件。補助額は現在決まっていない。

問 町の中期財政計画にはこの国体や学校のエアコン整備、給食費無償化、道の駅、耐震工事新消防庁等の増額など23、25億は入っていない。国の補助(普通交付税)は28年から減り、33年には今より毎年9億4千万円も減る見込みもあり、町財政の負担になると考えるが。

企画財政課長 県推定6億5千万の見方もあり、早急に財政計画を見直す。

町長 将来に責任を負う立場として方向性を示していく。

問 NIE活動で生活力、学力向上

答 大事な教育、今後も進める

問 教育に新聞の活用(NIE)を積極的に取り入れては。教育長 大事な教育の一つ。今後も進めていく。町長 社会性、学力向上のためにも必要。支持していく。

問 介護保険、第6期計画と施設整備

答 2025年対応の施設整備が必要

問 医療、介護総合法が成立し、今後、介護保険は大きく変わることになる。来年度から第6期計画が始まるが、第5期計画から町の課題を整理し、どんな計画にしているのか。特にサービス提供で町内で不足している施設は整備すべきだ。

福祉保健課長 第5期計画では地域包括ケアや訪問看護、特に24時間対応のサービス提供と言われたが、このサービス事業所は町内にありませぬ。

在宅サービスの要、デイサービスセンターは4つあるが、どこも定員いっぱいです。第6期計画では訪問介護や看護、不足施設の整備をしていく計画で、2025年問題のためにも重要と考えている。



【その他の質問】「個人情報流出防止へ、町の対応は」

問 温泉、問題業者の指定管理で良いのか

答 司法の判断を待つ



議員 金元 直栄

問 本町の温泉や河川公園の指定管理業者(株)コーワが書類送検へ、この報道があった。県公安委員会から7回の指示処分など、県警は悪質と判断したとある。反社会的行為の常習犯、コーワからはこの状況、報告されていたのか。

福祉保健課長 7月3日に警備業法違反で刑事罰の可能性があると聞いていた。8月には副社長が来庁し、その報告は8月5日に議会に口頭で行った。問 この会社への町の対応はどうするのか。指定管理契約前の行為もあるが、業者選定時にはつかめていたのか。業者の経歴詐称ではないのか。法に基づいて指定管理を止めるべきだ。



永平寺温泉「禅の里」

総務課長 警備業に対する書類送検のため、現時点では指定管理に直接関係するものではなく、今後、司法判断後に近隣を見ながら判断したい。

町長 業者の選考は公平性の確保が第一で、今度はその履歴や会社の実績等の項目も入りたい。協定書の不備については対応していく。

地デジ 121ch 行政チャンネル週間番組表

放送期間
2014年10月24日(金)～10月28日(火)

時	10月24日(金)	10月25日(土)	10月26日(日)	10月27日(月)	10月28日(火)	時
8	00 町長招集あいさつ	00 一般質問(2日目③) 楽間薫議員 上田誠議員	00 一般質問(1日目②) 小畑博議員 川治孝行議員 上坂久則議員	00 予算決算常任委員会	00 一般質問(2日目①) 長谷川治人議員 多田憲治議員 江守勲議員	8
9	42 文字告知放送	32 文字告知放送			31 文字告知放送	9
10	00 一般質問(1日目①) 中村勘太郎議員 齋藤則男議員	00 一般質問(3日目) 金元直栄議員 滝波登喜男議員	03 文字告知放送	34 文字告知放送	00 一般質問(2日目②) 伊藤博夫議員 酒井要議員 奥野正司議員	10
11	35 文字告知放送		00 一般質問(1日目③) 長岡千恵子議員 朝井征一郎議員	00 本会議	45 文字告知放送	11
12	00 一般質問(1日目②) 小畑博議員 川治孝行議員 上坂久則議員	10 文字告知放送	38 文字告知放送	38 文字告知放送	00 一般質問(2日目③) 楽間薫議員 上田誠議員	12
13		00 予算決算常任委員会	00 一般質問(2日目①) 長谷川治人議員 多田憲治議員 江守勲議員	00 町長招集あいさつ	32 文字告知放送	13
14	03 文字告知放送		31 文字告知放送	42 文字告知放送	00 一般質問(3日目) 金元直栄議員 滝波登喜男議員	14
15	00 一般質問(1日目③) 長岡千恵子議員 朝井征一郎議員	34 文字告知放送	00 一般質問(2日目②) 伊藤博夫議員 酒井要議員 奥野正司議員	00 一般質問(1日目①) 中村勘太郎議員 齋藤則男議員		15
16	38 文字告知放送	00 本会議	45 文字告知放送	35 文字告知放送	10 文字告知放送	16
17	00 一般質問(2日目①) 長谷川治人議員 多田憲治議員 江守勲議員	38 文字告知放送	00 一般質問(2日目③) 楽間薫議員 上田誠議員	00 一般質問(1日目②) 小畑博議員 川治孝行議員 上坂久則議員	00 予算決算常任委員会	17
18	31 文字告知放送	00 町長招集あいさつ	32 文字告知放送			18
19	00 一般質問(2日目②) 伊藤博夫議員 酒井要議員 奥野正司議員	42 文字告知放送	00 一般質問(3日目) 金元直栄議員 滝波登喜男議員	03 文字告知放送	34 文字告知放送	19
20	45 文字告知放送	00 一般質問(1日目①) 中村勘太郎議員 齋藤則男議員		00 一般質問(1日目③) 長岡千恵子議員 朝井征一郎議員	00 本会議	20
21		35 文字告知放送	10 文字告知放送	38 文字告知放送	38 文字告知放送	21

問 広島県の土砂災害に学べ

答 空振り恐れず発令したい



広島市の土砂災害

問 広島県の土砂災害では、避難勧告発令の遅れと、危険箇所にもかかわらず警戒区域に指定されず、住民が逃げ遅れたと問題視されている。本町の避難勧告や危険箇所の指定、住民への周知など大丈夫か。

町長 避難勧告の判断は、国や県、気象庁の情報と危険箇所の映像などで行う。空振りを恐れず



滝波登喜男 議員

問 町を愛する人材確保を

答 工夫を凝らした採用試験へ

問 来年度も職員を10名程採用予定であるが、どのような人材を求めているのか。また、採用試験をより透明にするための情報公開の手段は。

副町長 事務職4名に70名、保育士2名に12名、保健師1名に4名、消防

カ所もある。自主防災組織を通じて、住民に詳しく説明していく。

問 学校統廃合への考えは

答 現状維持と考えている

問 政府は、小中学校の統廃合に関する指針を60年ぶりに見直し、規模拡大を積極的に後押しすると言っている。4年後の30年には、小学生88人減、中学生は42人減少する見込みである。今後、統廃合を進める考えは。教育長 少子化という問

題は避けては通れないが、統廃合はデリケートな問題で、慎重にしなければならぬ。しかし、町は少子化対策を行い、特徴ある教育を進め、地域を愛する子どもを育てようと頑張っている。今のところ現状維持と考えている。

ぜひ、傍聴にお越しください

12月定例会日程 (予定)

【一般質問】

8日(月) 9日(火) 10日(水) 10時～

【予算決算常任委員会】

11日(木) 9時～

【本会議】

16日(火) 10時～

【予備日】17日(水)

○日程は、都合により変更になる場合があります。
○会議は傍聴することができます。役場本庁の西側の階段を上って、3階議場傍聴席にお越しください。

活動報告

議会行財政改革特別委員会

平成25年度および26年度上半期における各事務事業の実績を計数的審査、執行状況の審査および成果についても審査し、27年度の予算に反映させる「議会の事務事業評価」に着手しました。

委員長 滝波登喜男

9月24日に、371事務事業の中から「防災行政無線整備工事」など13事業を選定しました。今後は、行政からの説明を受けながら審査していきます。

議会・各委員会の議員出欠状況

(平成26年8月5日～平成26年9月17日)

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退 -…員外 傍…傍聴 弔…弔事 研…研修

日付	開催委員会等	上坂久則	滝波登喜男	長谷川治人	朝井征一郎	酒井要	江守勲	小畑博	上田誠	金元直栄	楽間薫	齋藤則男	伊藤博夫	奥野正司	中村勘太郎	川治孝行	長岡千恵子	多田憲治	川崎直文
8月5日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月5日	臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月11日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月11日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月19日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月22日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月22日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月28日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月28日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月3日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月3日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月8日	定例会(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月9日	定例会(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月10日	定例会(一般質問3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月11日	予算決算常任委員会	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月12日	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月12日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月16日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月16日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月17日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月17日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数	12.5	15	12	15	14	16	14	19	17	17.5	13	13	15	18	13	17	12	13
	会議回数	13	16	13	15	14	16	14	19	17	18	13	13	15	18	13	17	13	13
	出席率	96%	94%	92%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	97%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	92%	100%

